

地質調査委託業務特記仕様書

I 調査概要

- 1 業務名 高知市東消防署三里出張所新築工事に伴う地質調査委託業務
- 2 調査場所 高知市池字見野越2841番6 外
- 3 その他

II 調査仕様

- 1 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「敷地調査共通仕様書（令和4年版）」（以下に「敷地共仕」という。）による。
- 2 特記仕様
 - (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
 - (2) 特記事項は○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と☒印のついた場合は、共に適用する。
 - (3) 特記事項に記載の()内表示番号は、敷地共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項 目	特 記 事 項
1 一 般 共 通 事 項	1 業務実績情報の登録	※適用する (1.1.4)
	② 主任技術者の資格又は能力	※次の(1)から(6)のいずれかに該当するもの (1.3.2) (1) 技術士法(昭和58年法律第25号)による技術士で、建設部門「土質及び基礎」又は応用理学部門「地質」若しくは総合技術監理部門において、「土質及び基礎」又は「地質」に登録がある者 (2) 一般社団法人建設コンサルタンツ協会が備える「RCCM登録簿」に登録があり、登録部門が「地質」又は「土質及び基礎」の者 (3) 一般社団法人全国地質調査業協会連合会に「地質調査技士」として登録がある者 (4) 大学・高専卒8年以上、高校卒10年以上、その他13年以上の地質(土質)調査、計測の実務経験を有する者 (5) (1)に掲げる者以外の技術士で、地質調査に関し5年以上の実務経験を有する者 (6) 地質調査業者登録規程(昭和52年建設省告示第718号)第3条第1号ロの規定により国土交通大臣が認定した者
	③ 現場作業条件	※(1.3.4)による (1.3.4) ※現場作業責任者の選任を行い、監督職員に報告すること。
	④ 成果品その他	報告書提出部数 ※3部 ○電子媒体(CD-R等) 1部 (1.5.1) ○報告書(製本) 2部 ○土質標本(木箱及びケース) 記録写真の提出 ※行う ・行わない
4 地 盤 調 査	① 一般事項	基準点 ・監督職員の承諾を受けた敷地内にある移動のおそれのない固定物(TP標高) ・水準測量のベンチマーク ・水準点 ※位置及び高さが確認できる写真を報告書に添付する。 (4.1.3)

章	項 目	特 記 事 項
4 地 盤 調 査	② ボーリング	掘削方法及び記号 ※ロータリー式ボーリング (RB) (4.2.2) ・ 試掘 (TB)
		掘削孔の埋戻し ※セメントミルク等で埋戻す (4.2.2) ・
		掘削位置 ※図示 ・ 監督職員の指示による (4.2.3) 掘削本数, 方法, 想定土質, 孔径及び形状 (4.2.2) (4.2.3) ※別紙1 ・
	③ サンプルング	サンプルングの種別, 採取数量, 位置, 深さ及び土質試験の種別 (4.3.2) (4.3.3) (4.3.4) (4.3.5) ※別紙2 ・
		細粒分含有率試験の位置及び箇所数 (4.3.5) ※別紙2 ・
		乱れの少ない試料の採取 (4.3.5) 粘土, シルト等の場合のサンプラー ※固定ピストン式シンウォールサンプラー (※エクステンションロッド式 ・ 水圧式) ・ ロータリー式二重管サンプラー ・ ロータリー式三重管サンプラー
		砂, 砂質土等の場合のサンプラー ・ 固定ピストン式シンウォールサンプラー又はロータリー式 三重管サンプラー ・
		乱れた試料の採取 ○標準貫入試験により得られる試料 ・ オープンドライブサンプラー
		土質試験を行う試験所 (4.3.5) ※監督職員の承諾を受けた試験所 ・
		④ サウンディング
試験位置 ※ボーリング位置に同じ (4.4.3) 試験深さ ※ボーリング長さと同じ (4.4.3)		
標準貫入試験の測定間隔 (4.4.4) ※地盤面より1mの深さから1m間隔 ・		
5 地下水調査	種別 ※現場透水試験 (4.5.2) 試験位置及び深さ (4.5.3) ※別紙3 ・	
	試験の種類 ※非常法 (※回復法 ・ 注水法) (4.5.5) ・ 非常法	

章	項 目	特 記 事 項		
6	物理探査・検層	物理調査・検層の種別 <ul style="list-style-type: none"> ・弾性波速度検層（PS検層） ・軟弱地盤技術解析 (4. 6. 2)		
		検層及び測定を行う位置及び深さ <ul style="list-style-type: none"> ※別紙3 (4. 6. 3)		
		検層方法の種類 <ul style="list-style-type: none"> ※ダウンホール方式 ・孔内起振受振方式 (4. 6. 4)		
		測定装置の周波数特性 <ul style="list-style-type: none"> ※4. 6. 5 (a) (2) による ・地表・地中とも10秒計 (4. 6. 5)		
		スペクトル解析手法 <ul style="list-style-type: none"> ・ (4. 6. 5)		
		⑦ 載荷試験	載荷試験の種別 <ul style="list-style-type: none"> ※ 平板載荷試験 ◎ 孔内載荷試験 (4. 7. 2)	
			平板載荷試験 <ul style="list-style-type: none"> 試験位置及び深さ <ul style="list-style-type: none"> ※ 別紙3 最大荷重 ※ 別紙3 載荷方法 ※ 段階式載荷 ・ 段階式繰返し載荷 (4. 7. 3)	
			孔内載荷試験 <ul style="list-style-type: none"> 種類 ※ プレッシャーマーター試験 ※ 等分布荷重方式 1室型 ・ 等分布荷重方式 3室型 ・ ボアホールジャッキ試験 掘削孔径 <ul style="list-style-type: none"> ・ 66 ※ 86 (4. 7. 4)	
			⑧ 物理試験	物理試験の種別 <ul style="list-style-type: none"> ※別紙2 (4. 8. 2)
			9 変形・強度試験	変形・強度試験の種別 <ul style="list-style-type: none"> ※別紙2 (4. 9. 2)
⑩ 圧密試験	圧密試験の種別 <ul style="list-style-type: none"> ※別紙2 (4. 10. 2)			
11	安定化試験	試料の採取位置 <ul style="list-style-type: none"> ※図示 (4. 11. 2)		
		試料の採取深さ <ul style="list-style-type: none"> ※4. 11. 2による (4. 11. 2)		
		試験の種類 <ul style="list-style-type: none"> ・ 締め固めた土のCBR試験 ・ 乱さない土のCBR試験 (4. 11. 2)		
14	総合考察	※4. 14. 2による 高度な検討業務 <ul style="list-style-type: none"> ・地震応答解析 ・変形解析 ・軟弱地盤技術解析（地盤の液状化） (4. 14. 2)		
⑮	報告書その他	柱状図の作成は「ボーリング柱状図作成要領（案）」 （昭和61年8月）「Ⅱ．土質ボーリング」による。 <ul style="list-style-type: none"> ・ (4. 15. 2)		

○サンプリングの種別, 採取数量, 位置, 深さ及び土質試験の種別サンプリング

サンプリング	採掘位置No.		2										計
	サンプリング番号		1	2	3	4	5						5
	想定採取深さ		1.00	2.00	3.00	4.00	5.00						
	想定土質		粘性土・シルト	粘性土・シルト	粘性土・シルト	粘性土・シルト	粘性土・シルト						
室内試験	物理的性質試験	土粒子密度 JIS A 1202	●	●	●	●	●						5
		含水率 JIS A 1203	●	●	●	●	●						5
		粒度分布 JIS A 1204	●	●	●	●	●						5
		液性限界 JIS A 1205											
		塑性限界 JIS A 1205											
		細粒分含有率 地盤工学会基準JGS T135	●	●	●	●	●						5
		湿潤密度											
力学的性質試験	一軸圧縮 JIS A 1216	非圧密非排水UU 地盤工学会基準JGS T521					○						1
		三軸圧縮	圧密非排水 CU 地盤工学会基準JGS T522										
			圧密非排水 CU 地盤工学会基準JGS T523										
			圧密排水 CD 地盤工学会基準JGS T524										
		圧密	段階載荷					○					
	定ひずみ速度 地盤工学会基準JGS T412												
	直接せん断	圧密定体積 地盤工学会基準JGS T560											
		圧密定圧 地盤工学会基準JGS T561											
	中空ねじりせん断 地盤工学会基準JGS T543												
	振動三軸	液性化強度特性 地盤工学会基準JGS T560											
		動的変形特性 地盤工学会基準JGS T561											
	化学的性質試験	PH											
		強熱減量											
有機物含有量													
腐植含有量													
水溶性成分含有量 (含 塩分濃度共)													

乱さない・・・○ 乱した・・・●

別紙3

・現場透水試験

原位置試験	採掘位置No.	試験深さ(m)	試験想定土質	備考

・弾性波速度検層(PS検層)

原位置試験	採掘位置No.	試験深さ(m)	備考

・常時微動測定

原位置試験	採掘位置No.	試験深さ(m)	備考

・平板載荷試験

原位置試験	採掘位置No.	試験深さ(m)	試験想定土質	最大荷重(KN)	備考

○孔内載荷試験

原位置試験	採掘位置No.	試験深さ(m)	試験想定土質	備考
	2	3~4	シルト	

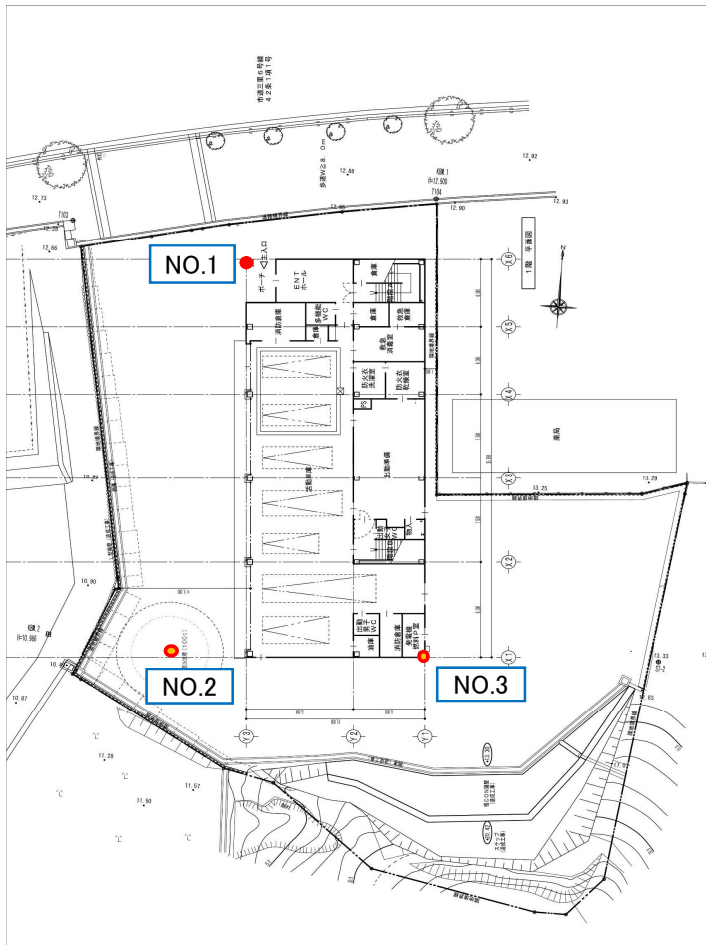
・その他(試験・調査)

試験・調査名称	試験・調査方法	備考

付近見取図及び調査位置図



付近見取図



調査位置図

